


提出 順番	No. 6	平成 29 年 2 月 23 日 午前・午後 11 時 30 分受領
----------	----------	---------------------------------------

平成 29 年 2 月 23 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 小田 新紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 中学校部活動による教員・生徒の負担に対する軽減策を。	<p>本年 1 月 6 日付で、文部科学省とスポーツ庁は、全国の教育委員会に部活動の休養日を適切に設けるよう求める通知を出しました。</p> <p>以前より、「労働」問題の観点から、教員の多忙化・過重労働の大きな要因として部活動があります。教員の最も重要な仕事である授業の準備や学級経営に影響が出ています。特に近年では、生徒数減少に伴う教員数の減により、各学校に専門性を持った教員が配置されず、知識・経験ともに浅い部活動の担当顧問を強いられることも大きな負担になっています。</p> <p>また、生徒にとっても、知らず知らずのうちに時間並びに体力・精神的な負担を強いられ、運動部においては、「スポーツ傷害」「燃え尽き症候群」といった事例が以前より指摘されています。</p> <p>文部科学省では、今年度、運動部活動の在り方に関する調査研究について予算を計上しており、部活動の適切な練習時間や休養日設定の考え方をまとめたガイドラインを策定する方針を示しています。</p> <p>つきましては、本町の今後の部活動の在り方に関わり、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 本町における部活動による教員・生徒の過重な負担についてどのように捉えているか？</p> <p>(2) 今後の軽減策と部活動の在り方についての考えは？</p>

<p>2. 忠類地域で継続的な合宿などの誘致を。</p>	<p>小学生から大人まで、各種団体等による合宿、大会に関わる遠征等が全国各地で行われています。十勝管内においても、時期によっては、帯広市内で開催される大会参加のために、遠く離れた町村にまで宿泊先を探さざるを得ないほどであり、その数は計り知れません。こうした団体が求める宿泊先には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仲間同士で過ごせる『大部屋』『大浴場』 ・「宿泊先内で摂れる『夕食』 ・「他のお客に迷惑のかかりにくい施設」 ・「北海道らしい大自然・牧場風景」(特に道外からの団体)等といった特別な事情もあります。 <p>わが町の忠類地域「ナウマン温泉ホテルアルコ 236」は、今年4月より新たな体制のもとで、さらなる施設利用促進・地域活性化について大きな期待をされるところでありますが、この施設・地域は、先述した条件に多く見合うものです。立地的にも、道外からであれば帯広空港が近いこと。また、道内であっても、高規格道路出入り口が近距離にあることで、幕別本町・札内地域あるいは帯広市街地に行くよりも、時間的には差異はありません。</p> <p>こうした好条件を持つ忠類地域の「強み」を生かして、各種団体に継続的に来てもらえるような合宿等の誘致・広報活動を積極的に推進していくべきと考えます。町の見解を伺います。</p>
------------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。